

## Ⅱ 英語の問題と 調査結果・分析等

### 分析ページの構成と見方について

#### 1 「設問のねらいと評価」について

- ◎ 「大問・領域」にはその「言語活動の内容」と「能力」を示した。「設問のねらい」には小問ごとの設問のねらいを、「評価」の項目には、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「外国語表現の能力」「外国語理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」の4観点に該当するものを○印で示した。

#### 2 「調査結果の概要と分析」について

- ◎ 調査結果の分析については、「全体（教科全般）」「領域別（領域や内容別）」「継続して見られる課題」を示した。

（◇：良好な結果が見られた点    ◆：課題が見られた点    ○：指導のポイント）

#### 3 「領域別調査結果の指導のポイント」について

- ◎ 大問ごとに設問・正答・結果・誤答例等について左ページに、課題のある設問についての分析と指導のポイントを右ページ以降に記した。

※ 分析等では、小数第2位を四捨五入した調査結果を用いている。

（※誤答例は、抽出生徒の主な誤答について頻度の高いもの）

## 1 設問のねらいと評価

評価の観点： 1…コミュニケーションへの関心・意欲・態度 2…外国語表現の能力 3…外国語理解の能力 4…言語や文化についての知識・理解

領域	大問	小問	設問のねらい	評価の観点			
				1	2	3	4
聞き取りの能力	1	(1)	英語での問いかけを聞いて、その内容を理解し、適切な応答を選択することができる。			○	
		(2)					
		(3)					
	2	(1)	会話などを聞いて、絵の内容に合っている適切な英文を選択することができる。			○	
		(2)					
		(3)					
		(4)					
	3	(1)	会話を聞いて、場面や要点を理解し、適切な答えを選択することができる。			○	
		(2)					
		(3)					
読解の能力	4	(1)	会話を読んで、情報を理解し、内容に合う適切な日本語や絵を選択することができる。			○	
		(2)					
		(3)					
		(4)					
	5	(1)	Eメール文を読んで、概要や要点を理解し、適切な答えを選択することができる。			○	
		(2)					
対話の場面の流れや理解	6	(1)	会話を読んで、場面や会話の流れに合う適切な英文を選択することができる。			○	○
		(2)					
慣用表現等の知識	7	(1)	会話を読んで、場面に応じた適切な慣用表現を選択することができる。			○	○
		(2)					
表現の能力	8		自己紹介の内容を考えて、適切な英語で書くことができる。	○	○		
	9		絵の内容に合っている適切な英文を書くことができる。		○		
文法・語順の理解	10	(1)	与えられた英語の語句を並べ替えて、正しく書くことができる。		○		○
		(2)					
		(3)					

## 2 調査結果の概要と分析

<p style="text-align: center;"><b>全 体</b></p>		<p>◇全体の正答率は 72.2%であった。設定通過率 70%から考えると、おおむね満足できる。</p> <p>◇聞き取りの能力では、正答率 90%を超える問いが多く、基本的な聞き取りの力は身に付いていることが分かる。</p> <p>◇英文を読み、理解する能力についても、正答率が設定通過率をおおむね超えており、満足できる。</p> <p>◆表現する能力については、正答率があまり高くなく、課題がある。特に、言語・文化の知識の定着が弱い。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">領 域 別</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">聞き取りの能力</p>	<p>◇聞いた英文を視覚的に理解し、文字を介さず状況をとらえる能力が身に付いている。</p> <p>◇会話を聞いて会話場面をとらえる問題の正答率が高く、それぞれの英語表現がどのような状況で使用されるかの判別が身に付いている。</p> <p>◆疑問詞を使った疑問文の理解が十分ではない。</p> <p>○5W1Hを使用した疑問文の質問と答え方など、日常的な会話表現をスパイラルに指導し、質問に合った受け答えが適切にできるようにさせる。</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">読解の能力</p>	<p>◇視覚的な情報（絵）が与えられている問題については、英文の内容を理解しやすい傾向がある。</p> <p>◆「誰が」「何を」言っているのかを理解することや、英文の全体像や文脈を把握することに課題がある。</p> <p>○まとまった文章を読む経験をさせ、全体像を把握する力を付けさせる。</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対話の流れや 場面の理解 慣用表現等の 知識</p>	<p>◇対話の流れをおおむね理解し、適切な応答を選ぶ力は身に付いている。</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">表現の能力</p>	<p>◇4文以上で自己紹介を記述する問題の正答率は高く、授業で自己紹介を取り入れ、浸透させている成果と考えられる。平成 19 年度及び 23 年度にも同じ問題が出題されており、正答率にほとんど変化は見られない。</p> <p>◆現在進行形で表現する問題では、be 動詞や動詞の“ing”のつづり字が欠如しているなど、現在進行形の形が理解できていない生徒が多い。</p> <p>○基本文の形を定着させるために、「ピクチャーチャート（絵）」を用いて、基本文が正確に言えて書けるよう繰り返し練習させる。</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">文法・語順の 理解</p>	<p>◆日本語の語順と英語の語順の混同が見られる。英語を並べ替える際に日本語の語順のままになってしまう生徒が多い。</p> <p>○生徒の身近にある“of”（後置修飾）を含んだ表現を提示し、日本語と英語の語順の違いに気付かせる指導を行う。また、語順の違いに慣れさせるために、1年生から系統的に指導をすることが大切である。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">見られる課題 継続して</p>		<p>◆現在進行形の英文を書く上で必要な知識（文型、be動詞と一般動詞の違い等）が身に付いていない。</p> <p>◆自己紹介の英文は、授業でも比較的多く取り入れられているため、正答率が高い傾向が見られる。しかし、第三者について、絵を見て英文で表現する場合、無解答率が高く、苦手意識をもつ生徒が多く見られる。</p> <p>◆疑問詞＋名詞の語順が定着していない。</p> <p>◆英語の語順（of を用いた後置修飾の語順等）について理解度が低い。</p>

### 3 領域別調査結果の指導のポイント

#### (1) 聞き取りの能力

大問	小問	問 題	正 答	主な誤答例	自校の正答率	市の正答率	市の無解答率	設定通過率
1	①	話しかけに対する適切な英文を選ぶ。 Whose camera is this? ア It's a camera.                      イ It's on the desk. ウ It's Aya's.                              エ It's Aya's father.	ウ	エ		35.8	0.6	70
	②	話しかけに対する適切な英文を選ぶ。 Do you like soccer? ア Yes, I do.                              イ No, I can't. ウ Yes, it is.                              エ No, I'm not.	ア	エ		90.4	0.6	
	③	話しかけに対する適切な英文を選ぶ。 What's the date today? ア It's Tuesday.                      イ It's April 17 <sup>th</sup> . ウ It's cloudy.                              エ I'm fine.	イ	ア		55.7	0.7	
2	①	絵に合った英文を選ぶ。 Where is my CD? ア It's in the desk. イ It's under the desk. ウ It's by the desk. エ It's on the desk.	エ	ウ		81.6	0.4	80
	②	絵に合った英文を選ぶ。 You're late. What time is it now? ア I'm sorry. It's eight thirteen. イ I'm sorry. It's eight thirty. ウ I'm sorry. It's eight fourteen. エ I'm sorry. It's eight forty.	イ	ア		72.2	0.5	
	③	絵に合った英文を選ぶ。 This is my friend Mike. ア He can read Japanese well. イ He can speak Japanese well. ウ He can write Japanese well. エ He can have Japanese food.	ウ	ア		79.4	0.5	
	④	絵に合った英文を選ぶ。 Sanae likes sports. ア She is playing basketball. イ She is playing baseball. ウ She is watching a basketball game on TV. エ She is watching a baseball game on TV.	エ	イ		90.6	0.4	
3	①	何をしている時の会話ですか。 A: Excuse me. Does this bus go to City Hospital? B: No. A: Which bus goes there? B: Take Bus No.4. A: Thank you. ア 電話での会話                      イ 自己紹介での会話 ウ 行き方をたずねる時の会話                      エ 趣味についての会話	ウ	ア		96.9	0.4	80
	②	どのような場所での会話ですか。 A: Two colas and two cheese burgers, please. B: That's five hundred and forty yen, please. A: Here you are. B: Thank you. ア 本屋                      イ ハンバーガーショップ ウ パソコンショップ                      エ そば屋	イ	ウ		98.3	0.4	
	③	何についての会話ですか。 A: What did you have for breakfast yesterday? B: I had rice and miso soup. How about you? A: I had cereal. B: Really? Great! ア 学校の先生についての会話 イ 好きな食べ物についての会話 ウ 昨日の朝食についての会話 エ 昨日見たテレビ番組についての会話	ウ	イ		92.5	0.5	

(単位: %)

## 聞き取りの能力

### 問題

- |  |   |
|--|---|
| <p>1 (1) A L Tの先生があなたたちに<br/>      答えの部分</p> | <p>A: Whose camera is this?<br/>B:ア It's a camera.<br/>   イ It's on the desk.<br/>   ウ It's Aya's.<br/>   エ It's Aya's father.</p>    |
| <p>(3) A L Tの先生があなたたちに<br/>      答えの部分</p>   | <p>A: What's the date today?<br/>B:ア It's Tuesday.<br/>   イ It's April 17<sup>th</sup>.<br/>   ウ It's cloudy.<br/>   エ It's fine.</p> |

**分析** 問題1は、問いかけに対する適切な英文を選ぶ問題である。

放送問題全体の正答率は 79.3%であった。内容の大意を聞き取る能力はおおむね身に付いている。

(1)は、聞き取りの問題で最も正答率が低く、35.8%であり、誤答としてはエが多かった。教科書で、whose が初出の会話文が、“Whose camera is this?” “It's my father's.” であることから、教科書本文の印象が強かったと考えられる。

(3)は、正答率が 55.7%であり、誤答としてはアが多かった。これは、日付を尋ねる“What's the date today?” と曜日を尋ねる “What day is it today?” を混同してとらえていると推測される。この2つの解答を混同する傾向は、昨年度と同様である。

### 指導のポイント

#### 1 疑問詞の種類を聞き分け、質問者の知りたいことに適切に答えられるようにする。


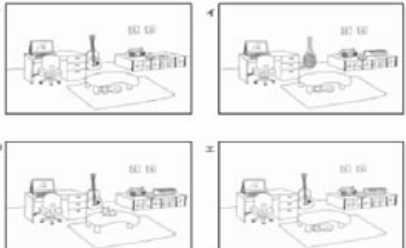

疑問詞を使った疑問文では、疑問詞の種類を聞き分け、質問者の知りたいことを正確に理解する必要がある。授業中に、5W1H を使用した疑問文の質問と答えを繰り返し口頭で行い、疑問詞を使った疑問文の意味の理解から、適切な答え方までを浸透させる必要がある。指導においては、教科書の各ページにある内容理解の質問も活用することができる。

#### 2 日常的な会話表現をスパイラルに指導し、質問に合った受け答えが適切にできるようにする。

“What day is it today?” や “What's the date today?” を授業の導入で取り入れるなど、英会話の授業を含めて繰り返し行い、生徒に浸透させることで、正しい形で反射的に答えられるようになることが望まれる。授業では、曜日→日付というように、常に同じ順番で尋ねるのではなく、尋ねる順番を変えるなど、生徒が英文の意味を正確に理解しているかを教師がつかむことが必要である。理解が確かではない生徒がいる場合には、文字を示し、音声と文字を結び付けて説明することが、理解を高めることにつながる。

また、what の直後に名詞が続く場合、動詞が続く場合の違いを明らかにして理解を促すことも必要である。

(2) 読解の能力

大問	小問	問 題	正 答	主な誤答例	自校の正答率	市の正答率	市の無解答率	設定通過率																																																
4	(1)	会話の内容から、ユウコの明日の時間割を選ぶ。 Yuko: It's Thursday *tomorrow. So we have five classes. Tom : I see. Yuko: We have four classes in the morning and one in the afternoon. Tom : OK. What's the first class? Yuko: Math. Tom : Do we have music tomorrow? Yuko: Yes. It's the second class. Tom : Oh, great! I like music very much.	イ	ウ		76.4	0.7	70																																																
		<table><tr><td>ア</td><td></td></tr><tr><td>1 音楽</td><td></td></tr><tr><td>2 数学</td><td></td></tr><tr><td>3 社会</td><td></td></tr><tr><td>4 英語</td><td></td></tr><tr><td>5 美術</td><td></td></tr></table>	ア		1 音楽		2 数学		3 社会		4 英語		5 美術		<table><tr><td>イ</td><td></td></tr><tr><td>1 数学</td><td></td></tr><tr><td>2 音楽</td><td></td></tr><tr><td>3 理科</td><td></td></tr><tr><td>4 体育</td><td></td></tr><tr><td>5 国語</td><td></td></tr></table>	イ		1 数学		2 音楽		3 理科		4 体育		5 国語		<table><tr><td>ウ</td><td></td></tr><tr><td>1 数学</td><td></td></tr><tr><td>2 音楽</td><td></td></tr><tr><td>3 理科</td><td></td></tr><tr><td>4 国語</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td></td></tr></table>	ウ		1 数学		2 音楽		3 理科		4 国語		5		<table><tr><td>エ</td><td></td></tr><tr><td>1 数学</td><td></td></tr><tr><td>2 美術</td><td></td></tr><tr><td>3 音楽</td><td></td></tr><tr><td>4 社会</td><td></td></tr><tr><td>5 体育</td><td></td></tr></table>	エ		1 数学		2 美術		3 音楽		4 社会		5 体育				
		ア																																																						
		1 音楽																																																						
2 数学																																																								
3 社会																																																								
4 英語																																																								
5 美術																																																								
イ																																																								
1 数学																																																								
2 音楽																																																								
3 理科																																																								
4 体育																																																								
5 国語																																																								
ウ																																																								
1 数学																																																								
2 音楽																																																								
3 理科																																																								
4 国語																																																								
5																																																								
エ																																																								
1 数学																																																								
2 美術																																																								
3 音楽																																																								
4 社会																																																								
5 体育																																																								
	(2)	会話の内容から、2人が見ている写真を選ぶ。 Judy:Can I see your pictures? Ken :Sure. Here you are. Judy:Wow, a girl is playing soccer. Who is she? Ken :That is my sister. She is a good soccer player. Judy:Who is reading a book? Ken :That's my father. He usually reads books on Sundays. Judy:Is the woman with long hair your mother? Ken :Yes, she is. Judy:Oh, she's very beautiful.	ア	イ		87.2	0.6																																																	
																																																								
	(3)	会話の内容から、アキラの部屋だと思われるものを選ぶ。 Akira:This is my room. John :Oh, you have a nice computer. Akira:Thank you.I sometimes play video games on the computer in my room. John :I see. Do you like music, too? You have many CDs. Akira :Yes. I like music very much. Look. This is my guitar. John :Great! You play the guitar. Akira :Yes. Please sit here. John :Thank you. Wow, the cat is under the *table. Akira :It's my cat Tama.	エ	ウ		87.5	0.5																																																	
																																																								
	(4)	会話の内容から、トムがあげたプレゼントを選ぶ。 Tom :This is a present for you, Saki. Saki :Is it an umbrella? Tom :Yes, it is. Please open it. Saki :Oh, it's nice and big! Tom :Do you like it? Saki :Yes. Wow! I like cats very much. Thank you, Tom. Tom :You're welcome.	ウ	イ		92.3	0.7																																																	
																																																								

(単位: %)

## 読解の能力

**問題** ④ (1) 前頁参照

⑤ 報告書 p. 86 参照

**分析** ④は、会話文を読み、その内容に合う表や絵を選ぶ問題である。

④の全体の正答率は 85.9%であったが、(1)の正答率は 76.4%と④の中で最も低かった。

誤答はウが多く、ユウコの So we have five classes. や We have four classes in the morning and one in the afternoon. という文が読み取れていないことによる誤答であった。平成 23 年度の同様の問題でも、日本語で書かれた表を見て答える問題の正答率が低かった。

⑤は、Eメールの内容について要点を理解し、内容に合うものを選択肢の中から選ぶ問題である。⑤全体の正答率は、昨年同様 66.5%だった。

(1) では誤答としてウが多く、メールの全体像をつかまずに、Hakone や festival という文中にある意味の分かりやすい語から、安易にウを選んでしまったと考えられる。(2) も同様で、アは brother や Hakone、ウは festival、エは I'll play tennis から安易に選んでしまったようである。このことから、文脈をじっくりと追わずに、特定の単語や文だけで判断した誤答であると考えられる。紛らわしい選択肢に対処するためにも、一文一文丁寧に読み、理解することが必要となる。

### 指導のポイント

#### 1 会話文では、会話の場面、状況をとらえさせる。

会話文においては、「いつ」「どこで」「誰が」「何を」といった要点を早くつかむことが重要である。授業や家庭学習の中で、速読練習やポイントを押さえて正確に読ませること等が必要になってくる。

#### 2 まとまった文章を読み、全体像を把握する力を付けさせる。

内容理解に関して、絵が与えられた問題と比較すると、文字媒体だけの問題は難易度が高く感じられるようである。英語が苦手な生徒にとっては英文をじっくり読むことをあきらめて、理解できた単語や文だけで解答をしてしまう傾向が見られる。

英文を読むことの楽しさを味わうことは、進んで読もうとする意欲につながる。そのためには、生徒に目的意識をもたせて読む指導が必要になってくる。具体的には、教科書で読み物教材を扱う場合、以下の指導法が考えられる。

- ① Oral Introduction では、生徒の興味・関心を引くような工夫をする。
- ② Reading Points を与える。
- ③ ポイントを意識しながら黙読させる。
- ④ 内容確認をし、要点や全体像をつかませる。

また、教科書以外の文にも触れさせ、英文に対する抵抗感をなくすなどの工夫も必要である。

## 【指導のポイントを受けた実践例】

### 1 授業のまとめや宿題で用いるワークシートを工夫した例

各プログラムの学習終了時、授業のまとめや宿題として以下のようなワークシートを作成し、文を読んで、全体像や要点をつかむ練習をする。

<p style="text-align: center;">Program 4</p> <p>Mike : What do you usually do on Sunday, Yuki? Yuki : I clean my room. Miki : Oh, good. I listen to music. How about you, Takeshi? Takeshi : I usually play basketball.                     Sometimes we have a recycling day. Mike : What do you do on a recycling day? Takeshi : We take bottles to the park. Yuki : We also collect books, magazines, and newspapers. Mike : Great! Yuki : We have a recycling day next Sunday. Takeshi : Let's go together. Mike : OK.</p> <p>問題 3人の会話の話題で最も大切なことは何ですか。次のア～エの中から1つ選んで、その記号を答えなさい。</p> <p>ア 日曜日の過ごし方 イ 音楽について ウ 本や雑誌、新聞について エ リサイクル活動について</p>
--

(Sunshine English Course 1 p. 39, 41 より)

### 2 Review Reading など、教科書の読み物教材を活用した例

教科書には、本課のテーマや話題に関連した復習用の読み物が用意されている。これらの教材を活用し、文章の全体像をとらえる練習をする。

参考資料 教科書 (Sunshine English Course 1 p. 130)

### 3 多読活動を通じて、まとまりのある英文の概要をとらえさせる例

3学期に、まとまりのある英語を理解するための発展的言語活動として「さいたま市中学校教育課程評価資料 p. 277」に掲載されている多読活動に取り組む。

#### 【英文プリント一例】

※教科書補助教材「リーディング・ワークシート p. 14」使用

1	<b>The Internet Is Fun.</b>	同様のワークシートを 数枚用意する。
<p style="text-align: center;"><i>Solongo, 12. Ulan Bator, Mongolia</i></p> <p>Hello, everyone. My name is Solongo. It means “a rainbow.” I live in Ulan Bator. I speak Mongolian and I learn English at school. I always look forward to the Naadam Festivals during the summer holidays. I take part in the festivals and enjoy horse racing and archery. The festivals are exciting. Please write to me! Bye</p>		

#### 【要点チェックシート例】

Class1- _____ No. _____ Name _____	リーディング・ワークシートを1枚 読み終わる毎に、チェックシート に答える。
Sheet A : [The Internet Is Fun]	
次の各文のうち内容が正しいものを3つ選び、( ) に○を書き入れなさい。	
1. ( ) ソロンゴという名は「にじ」を意味します。	
2. ( ) ソロンゴさんは学校で英語を学んでいます。	
3. ( ) ナーダムは秋祭りです。	
4. ( ) ソロンゴさんはナーダム祭りで競馬と弓技をして楽しめます。	
5. ( ) ナーダム祭りはちょっと退屈です。	

#### 【英文ちょこっと解説例】

英文ちょこっと解説	Name _____	読んだ物語の中から1番面白かったものを1つ選び、記入する。
○Write down in English, please! 英文『 _____ 』		
〈一言ストーリー解説：簡単に言うとこんな感じ〉		
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
〈感想：理由も付けて〉		
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		

(3) 「対話の流れや場面の理解」「慣用表現等の知識」

大問	小問	問 題	正答	主な誤答例	自校の正答率	市の正答率	市の無解答率	設定通過率
5		Dear Judy, How are you doing? I'm in *Hakone now. I got here yesterday. My brother Hideki lives in Hakone. Hakone is very nice in summer. It has a lot of beautiful views and a *lake. My brother and I went to *Lake Ashinoko yesterday afternoon. We walked around the lake, and I saw a *festival at night. I enjoyed it very much. It's very *cool in Hakone. *I'll play tennis with my brother *tomorrow. I'm having a good time. See you soon! Your friend, Takako						
	①	タカコがジュディに最も伝えたいことを1つ選ぶ。 ア タカコの普段の生活について知らせること。 イ タカコの夏の出来事について知らせること。 ウ 箱根のお祭りについて知らせること。 エ タカコの兄であるヒデキ (Hideki) を紹介すること。	イ	ウ		64.2	1.0	70
	②	本文の内容と合うものを1つ選ぶ。 ア タカコは兄と箱根に住んでいる。 イ 箱根にはたくさんの美しい景色と湖がある。 ウ タカコは午前中に芦ノ湖のお祭りに参加した。 エ タカコとジュディはテニスをするつもりである。	イ	エ		68.7	1.2	
6	①	対話文中にあてはまる文を選ぶ。 Dustin: Hi, Taeko. Do you have an English class today? Taeko :Yes, I do. Can you come to our class? Dustin: ( ) Taeko :I'm very happy. ア I'm sorry. イ Me, too. ウ Sure. エ Are you?	ウ	イ		69.6	1.2	70
	②	対話文中にあてはまる文を選ぶ。 Jack :Do you like English, Takashi? Takashi:Yes, it's very interesting. We have three classes each week. Jack :Really? Takashi:Yes. On Tuesday, Wednesday and Friday. Jack :( ) Takashi:They're fifty minutes long. ア How long are the classes? イ What time is it? ウ How long does it take? エ What's your favorite subject?	ア	ウ		69.3	1.5	
7	①	対話文中に合う慣用表現等を選ぶ。 Mike: What do you have in your bag? Yuka: Look! I have a new racket. Mike: Can I use your racket? Yuka: OK. ( ) ア Here you are. イ Thank you. ウ Really? エ Me, too.	ア	イ		73.8	1.5	75
	②	対話文中に合う慣用表現等を選ぶ。 Yuko: What did you do last Sunday? Mark: I went to Omiya with my friends. I watched a soccer game. ( ) Yuko: I went to school. I played tennis with my friends. ア Here you are. イ How are you doing? ウ I don't know. エ How about you?	エ	イ		57.0	1.8	

(単位：%)

## 対話の流れや場面の理解、慣用表現等の知識

### 問題

6、7は、会話文中の（ ）にあてはまる適切な英文を選ぶ問題である。

6 (1) Dustin: Hi, Taeko. Do you have an English class today?

Taeko: Yes, I do. Can you come to our class?

Dustin: ( )

Taeko: I'm very happy.

ア I'm sorry.

イ Me, too.

ウ Sure.

エ Are you?

(2) Jack: Do you like English, Takashi?

Takashi: Yes, it's very interesting. We have three classes each week.

Jack: Really?

Takashi: Yes. On Tuesday, Wednesday and Friday.

Jack: ( )

Takashi: They're fifty minutes long.

ア How long are the classes?

イ What time is it?

ウ How long does it take?

エ What's your favorite subject?

7 (1) Mike: What do you have in your bag?

Yuka: Look! I have a new racket.

Mike: Can I use your racket?

Yuka: OK. ( )

ア Here you are. イ Thank you.

ウ Really? エ Me, too.

(2) Yuko: What did you do last Sunday?

Mark: I went to Omiya with my friends.

I watched a soccer game.

( )

Yuko: I went to school. I played tennis with my friends.

ア Here you are.

イ How are you doing?

ウ I don't know.

エ How about you?

### 分析

6は、会話文を読んで、その流れや場面を把握して、自然な会話になるように適切な文を選ぶ問題である。

正答率は、(1)が69.6%(2)が69.3%であり、設定通過率70%を考えると、おおむね満足できる状況である。平成23年度の問題は、場面設定が教科書の設定と同様だったため、正答率が今年度より高く出ていたが、今年度は場面設定が教科書と違っていたので正答率が下がったのではないかと考えられる。(1)、(2)どちらの設問に関しても同様の傾向が見られる。

7は、会話文を読んで、その場面を把握して、適切な慣用表現を選ぶ問題である。

正答率は(1)が73.8%、(2)が57.0%であった。(1)の設問と(2)の設問を比較すると、(1)は選択する表現が会話の最後にくることから、会話の流れを把握しやすい。それに比べて(2)は、選択する表現が会話文の中間に位置し、前後の文脈を読み取り正答を導き出すようになっている。よって、(2)のほうにより対話の流れを理解しないと正答を選び出すことができないものと分析できる。

7(2)の誤答例をみると、選択肢イを選んでいる生徒が多いことから、疑問詞howを使った慣用表現の区別が付いていないことが考えられる。

また、7(2)の問題は、( )の前に疑問文がなく、( )の後の文章を読んでも、どのような質問がくるのかが類推しづらくなっている。このことも、他の問題と比べて、正答率が低い要因であると考えられる。

## 指導のポイント

### 1 同じ疑問詞を使った慣用表現をまとめて整理させる。

⑦ (2) の誤答例から、同じ疑問詞を使った慣用表現の区別ができるように、まとめて提示するなどの工夫が必要となる。例えば、教科書付属の「別冊データ CD-ROM」の中にある単語熟語データを使って、そのデータを並べ替える（ソートする）、と、その単語を使った関連表現がまとめて表示される。そこで、How を探すと、下の表のように出てくる。（太枠参照）このようなデータを活用して、5W1H の疑問詞を全て導入し終わったときに、疑問詞をまとめて確認させるとよい。

【単語熟語データを使って並べ替えた（ソートした）例】

熟語	意味	初出学年	初出頁
<i>every year</i>	毎年	1	73
<i>every day</i>	毎日	1	76
<i>every week</i>	毎週	1	79
<i>every morning</i>	毎朝	1	127
<i>exchange ~ with ...</i>	～を…と交換する	1	85
<i>Excuse me.</i>	ちょっと失礼します。	1	33
<i>get home</i>	帰宅する	1	57
<i>get up</i>	起きる	1	57
<i>go home</i>	帰宅する	1	34
<i>go to bed</i>	寝る	1	57
<i>Go ahead.</i>	どうぞ、いいですとも。	1	109
<i>Good afternoon.</i>	こんにちは。	1	88
<i>Good morning.</i>	おはよう。	1	122
<i>have a good time</i>	楽しく過ごす	1	125
<i>have a lot of fun</i>	大いに楽しむ	1	125
<i>help ~ with...</i>	～の…を手伝う	1	65
<i>Here you are.</i>	はい、どうぞ[できました]。	1	83
<i>Hi, there.</i>	やあやあ。	1	92
<i>hold on</i>	(電話を切らないで)待つ、そのままにしている	1	95
<i>How about ~?</i>	～はどうですか。	1	39
<i>How many ~?</i>	いくつの[どれだけ(多く)の]～ですか。	1	42
<i>How much ~?</i>	～はいくらですか。	1	76
<i>How are you?</i>	お元気ですか。	1	95
<i>How are you doing?</i>	いかがお過ごしですか。	1	103
<i>How old ~?</i>	～は何歳ですか。?	1	112

### 2 教科書の形を基本に、発展させた会話練習を行う。

一つの疑問文に対して一つの答えというような一対の会話のときは答えを導きやすいが、複数の文の間にくる表現を導き出すには、会話を続ける指導が必要になってくる。

会話での慣用表現を使いこなすためには、小学校からの指導を受け、中学校ではスパイラルに同じ話題に対して少しずつ会話のやり取りを増やし、より多く会話のキャッチボールができるように指導していく必要がある。

## 【指導のポイントを受けた実践例】

### 1 言語活動で用いるワークシートの例

ペアで、次のような会話活動を行い、“How about you?”の使い方を身に付ける。

- 発展**
- ・互いの情報を交換し、得た情報は、メモをさせる。
  - ・互いに得た情報について、He/She を主語にして、第三者に伝える活動につなげることもできる。

#### 【他己紹介をする前の質問の例】

- Q1) A: What subject do you like?  
B: I like 教科名. How about you?  
A: I like 教科名.
- Q2) A: What food do you like?  
B: I like 食べ物の名前. How about you?  
A: I like 食べ物の名前.
- Q3) A: Do you play video games?  
B: Yes, I do. I like ゲーム・ソフトの名. How about you?  
(No, I don't. I don't play any video games.)  
A: I like ゲーム・ソフトの名.
- Q4) A: Do you come to school by bike?  
B: Yes, I do. How about you?  
(No, I don't. I come to school by foot.)  
A: I come to school by \_\_\_\_\_.
- Q5) A: Do you have a pet?  
B: Yes, I do. I have a dog. How about you?  
(No, I don't. I don't want any pets.)  
A: I have a 動物の名前. (I don't have any pets.)


#### **発展**のワークシート例

##### 【パートナーを紹介する文を作ろう】

パートナーの答えをもとに、パートナーを紹介する文を完成させよう。

-----
-----
-----

(4)「表現の能力」「文法・語順についての理解」

大問	小問	問題・＜正答＞・〔主な誤答例〕	自校の正答率	市の正答率	市の無解答率	設定通過率
8		英語で自己紹介をする。 My name is に続けて 4 文以上書く。 ＜正答例＞ My name is Takashi. I like basketball. I can play basketball well. I am in the basketball club. 〔誤答例〕 ・ I did play baseball. (文法上のミス) ・ I'm の'm の欠如                      ・ 綴りのミス		75.3	4.6	75
9		絵を見てサトシ (Satoshi) が今していることを 4 語以上で書く。  ＜正答例＞ Satoshi (He) is playing tennis. 等 〔誤答例〕 ・ Satoshi playing tennis now. ・ Satoshi play tennis after school. ・ Satoshi is play tennis.		41.6	6.0	50
10		与えられた語句を並べ替え、正しい文を書く。 A: ( do / many / how / have / you / desks ) in your room? B: I have two. ① ＜正答＞ (How many desks do you have) in your room? 〔誤答例〕 ・ How many do you have desks ・ How do you have many desks		53.5	4.5	60
		A: ( subject / do / what / you ) study before dinner? B: I study English before dinner. ＜正答＞ ② (What subject do you) study before dinner? 〔誤答例〕 ・ What do you subject ・ Do you what subject		30.6	4.1	
		A: What's this? B: It's ( a picture / my sister / of ) A: Wow! She's beautiful ＜正答＞ ③ It's (a picture of my sister). 〔誤答例〕 ・ my sister of a picture ・ of a picture my sister		47.1	3.9	

(単位：％)

## 表現の能力

### 問題

8 4文以上で自己紹介文を記述する問題である。

### 分析

この問題は、平成 19、23 年度と同一問題で、正答率は 75.3%、無解答率は 4.6%だった。平成 23 年度の正答率は 75.4%、無解答率は 6.4%であり、正答率にほとんど変化はないが、無解答率は 1.8 ポイント減少している。その理由として、多くの授業で自己紹介を取り入れているためだと推測できる。また、授業で音声だけでなく、書く活動も重視するようになってきたことも成果の一つと考えられる。

誤答としては、文法を正しく理解していないこと、また、正しく使用できていないことによるものが多く、今後の課題として挙げられる。

#### [主な誤答例]

動詞の用法 I did play baseball. I like run. I don't like study.

be 動詞の用法 I in the baseball club. I'm a lot of friends.

単数・複数名詞の用法 I like apple. I have brother. I like cat.

### 指導のポイント

#### 1 「書く活動」を繰り返し取り入れ、基礎・基本を定着させる。

テーマに沿った英作文の練習を定期的に行う必要がある。英作文を指導する際には、教員が個別確認し、生徒に応じた注意点を指摘することで、個に応じた基礎・基本の定着を促すことができる。

今回、誤答として多くの生徒に共通して見られた一般動詞や be 動詞の用法、単数・複数の用法についての課題は、授業内で例を挙げながら、間違いの理由をはっきり意識させていくことで、以降の誤答防止にもつながっていくことが期待できる。

#### 2 グループ学習等を通じて英作文の修正を行う。(Peer Editing)

英文を作った後で、生徒間で相互に文を見せ合い、修正を行ったり、助言を与えたりする Peer Editing も効果的である。Peer Editing では、同じ立場にいる人どうしが文章を見せ合い、校正を行うことで、よい文章についての気付きを得たり、自分の作文を客観的に見つめ直したりして、自分の誤りや弱点に気付くことができる。結果として、今後の学びにつながり、意欲の向上が期待できる。ただし、Peer Editing を行う場合には、生徒どうしで行っていることを踏まえ、誤った知識を共有し、広がることのないよう、状況に応じた注意や工夫が必要となる。

### 問題

9 絵の中の人物(Satoshi)が、今、していることを、4語以上の単語を使って英文一文で書く問題である。

### 分析

9は、絵を見て現在進行形の文で答える問題である。正答率は 41.6%で、昨年度に比べ 3.2 ポイント上回っている。無解答率は 6.0%で昨年度に比べ 3.8 ポイント下回っている。

誤答例としては、be 動詞が抜けているもの、動詞に“ing”を付け忘れていたもの、be 動詞と一般動詞の混同が挙げられる。

これらのことから、現在進行形の文について、文の形を理解することに課題がある。また、他の問題に比べて無解答率が高いことから、第三者について表現することに苦手意識をもつ生徒がいることも考えられる。

### 【主な誤答例】

Satoshi playing tennis. / Satoshi is play tennis./ Satoshi play(s) tennis now. など。

## 指導のポイント

### 1 「ピクチャー・チャート」(絵) を用いた練習で、基本文の形を定着させる。

基本文の形を定着させるために、ピクチャー・チャートを用いて、基本文が正確に言えて書けるよう繰り返し練習する。特に絵を用いることで第三者について表現する力が向上すると考えられる。また、進行形[be 動詞＋現在分詞]の形を理解させることが2年で学習する過去進行形、受け身形[be 動詞＋過去分詞]の文や、3年で学習する現在完了形[have＋過去分詞]の理解へと発展していくことが期待できる。

また、教科書(おぼえよう! のページ)の絵(※)を用いて次のような活動を継続的に行うことが有効であると考えられる。(Sunshine English Course 1 p. 92 より)

Step 1 「基本の絵を提示する。」



T : Who is he?

S : He is Nick.

Step 2 「次の絵を提示して、絵についての問答を行う。」



T : [ティーカップを指さしながら]  
What's this?

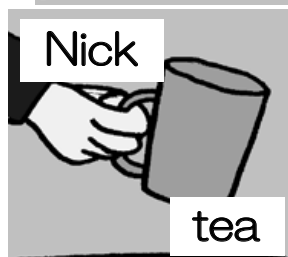
S : It's a cup.

T : What cup is this? Tea cup?

Coffee cup?

S : It's a tea cup.

Step 3 「次の絵を提示して、ポイントとなる表現を導き出す。」



T : What is Nick doing now?

S : He is drinking tea.

Step 4 「次の絵を提示して、ポイントを確認する。」



※この頁及び次頁のワークシートに掲載されている絵は、著作権の関係で、教科書に掲載されているイラストではありません。

実際の指導場面では、教科書の絵をそのまま活用して指導することになります。

Step 5 「同様の練習を、他の3つの絵を用いて行う。」

Step 6 「絵を用いた練習を行った後、次のワークシートで“Writing”と“Listening”を行い、さらに基本文の形の定着を図る。」

※絵は、画用紙に描いて提示するか、SDカードを用いて50インチのテレビで提示するのがより効果的である。

① 今していることについて言えるようにしよう。

■おぼえよう

Can you help me?

Sorry, I can't. I'm cooking now.

「(今)～しています。」と進行中のことを言うときは、< am [are, is] + ~ing > で表します。  
→「英語のしくみ 3」(P.100)

● 言ってみよう & 書いてみよう

下の絵について英語で言い、書きましょう。

a \_\_\_\_\_

b \_\_\_\_\_

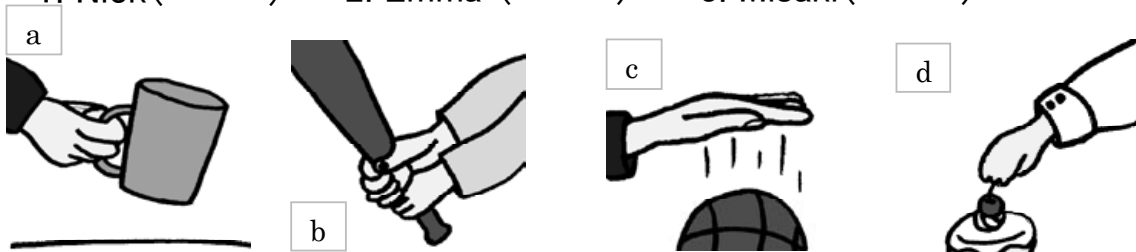
c \_\_\_\_\_

d \_\_\_\_\_

● 聞いてみよう

3つの対話を聞いて、それぞれ内容に合う絵を選びましょう。

1. Nick ( )      2. Emma ( )      3. Misaki ( )



● 使ってみよう 仲のよい人に手伝いをたのまれて、あなたが断らなければならないのは

どんなときですか。例にならい書いてみよう。

(例)

仲の良い人: Can you help me?

自分: Sorry, I can't. I'm doing my homework.

あっちゃん: Can you help me?

自分: Sorry, I can't. I'm \_\_\_\_\_.

あいばちゃん: Can you help me?

自分: Sorry, I can't. I'm \_\_\_\_\_.

## 文法・語順についての理解

### 問題

10 ( ) の語句を並べ替えて、会話を完成させる問題である。

(1) A: (do / many / how / have / you / desks ) in your room?

B: I have two.

(2) A: ( subject / do / what / you ) study before dinner?

B: I study English before dinner.

(3) A: What's this?

B: It's ( a picture / my sister / of )

A: Wow! She's beautiful.

### 分析

10 は、会話の流れから考える英作文問題で、和文は与えられていない。正答率は、(1) 53.5%、(2) 30.6%、(3) 47.1%となっている。

(1) で最も多かった誤答は、“How many do you have desks?” という語順だったことから、疑問詞に名詞を付けて表現することが定着していないことが考えられる。

(2) で最も多かった誤答は、“What do you subject” という語順で、(1) と同じ傾向であり、ほぼ半数の生徒がこのような形で間違えている。このことから、疑問詞＋名詞の形は“How many desks” より “What subject” の語順のほうがより定着していないことが分かる。しかし、同じ問題を出題した平成 21 年度と比較すると、10 ポイント程度正答率が向上している。これは、英会話の授業の効果とも考えられる。

(3) で最も多かった誤答は、“my sister of a picture” という語順である。日本語と同じ語順で単語を並べていることから、of の意味や働き、語順の理解が不十分であると考えられる。

### 指導のポイント

#### 1 「What＋名詞」の形を授業で取り上げ指導する。

以前の教科書では “What do you like?” や “What is your favorite subject?” のように、疑問詞の後に名詞が続かない形が基本文として取り上げられており、「疑問詞＋名詞」の形は、基本文としては取り上げられていなかった。しかし、現行の教科書では、speaking 教材等で提示されているので、「What＋名詞」の形を繰り返し指導し、定着を図るようにしたい。

#### 2 身近にある後置修飾の “of” の例を挙げ、日本語と英語のイメージをつなげる。

生徒にとって、身近な “of” を含んだ表現を提示し、日本語と英語の語順の違いに気付かせる指導も有効である。

例) Pirates of the Caribbean	「カリブの海賊」
The Adventures of Tom Sawyer	「トムソーヤの冒険」
The king of fighters	「戦士の王様」
キングオブコメディ	「コメディの王様」

## 【指導のポイントを受けた実践例】

### ○ 語順の違いを意識させたい基本文の例を基に、系統的に指導を行う。

日本語と英語の語順の違いは非常に大きいので、その違いに慣れることはとても大事なことです。例えば、最初に導入される be 動詞は、I am Saki. 「私は沙紀です。」と日本語の語順とあまり大差ない。しかし、一般動詞では、I like music very much. 「私は音楽がとても好きです。」となる。これについて、英語の語順で意味を並べると「私／好き／音楽／とても」というように日本語と大きくかけ離れていることが分かる。このことから、語順の違いに慣れさせる指導が大切である。

学年	学習内容	基本文の例
1 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副 詞</li> <li>・ 前置詞</li> </ul>	<p>Tom speaks Japanese <u>well</u>.</p> <p>I come to school <u>by bike</u>.</p>
2 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接続詞</li> <li>・ 不定詞</li> <li>・ SVC の文型</li> <li>・ 比較級</li> <li>・ 受動態</li> </ul>	<p>I think (that) <u>dogs are nice</u>.</p> <p>I was sleeping <u>in bed when you called me</u>.</p> <p>I went to Chiba <u>to see my aunt</u>.</p> <p>I want something <u>to drink</u>.</p> <p>You look <u>cool</u>.</p> <p>Japan is larger <u>than Finland</u>.</p> <p>I think <u>it was the most difficult of all the questions</u>.</p> <p>I like spring <u>better than summer</u>.</p> <p>I like spring <u>the best</u>.</p> <p>It was written <u>by my grandfather a long time ago</u>.</p>
3 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ It~ for~ to</li> <li>・ ask 人 to~</li> <li>・ SVOC の文型</li> <li>・ 間接疑問文</li> <li>・ 現在分詞</li> <li>・ 過去分詞</li> <li>・ 関係代名詞</li> </ul>	<p>It is hard <u>for me to get up so early</u>.</p> <p>Could you ask him <u>to call me back?</u></p> <p>His songs always make <u>me happy</u>.</p> <p>I don't remember <u>when it is</u>.</p> <p>I mean <u>the man sitting on the chair</u>.</p> <p>That is the temple <u>built by Ashikaga Yoshimitsu in 1397</u>.</p> <p>The girl <u>who has just walked away</u>.</p> <p>I want to see the pen <u>which is next to it</u>.</p> <p>I know a shop <u>that sells nice cards</u>.</p> <p>It's a special dish <u>which we eat during the New Year</u>.</p> <p>Have you ever tried the pies <u>that my father bakes?</u></p> <p>I'll show you <u>some pictures he took</u>.</p> <p><u>The baby you're looking at</u> is my father.</p>